

# 「尊厳死」法制化問題・学習会 ～障害者・患者が問いかけるもの～

本年3月22日、超党派の「尊厳死法制化を考える議員連盟」は、「終末期の医療における患者の意思の尊重に関する法律案(仮称)」を明らかにしました。そもそも「尊厳死」とは何でしょうか。終末期とは？、延命治療とは？、疑問は尽きません。人工呼吸器や水分・栄養補給は生きるためのものです。

誰もが安心して受けられる医療や介護の充実なども含めて、障害者、患者の声を中心に議論しましょう。

日時：2012年**4**月**27**日(金)

11時00分～13時00分(開場：10時45分)

場所：参議院議員会館101会議室

## 〈プログラム〉

1. 開会挨拶
2. 議員挨拶
3. いろいろな立場からの報告(調整中も含む)
  - 障害当事者 三澤 了さん(DPI 日本会議)
  - 臨床哲学 清水 哲郎さん(東京大学大学院)
  - 社会学 立岩 真也さん(立命館大学大学院)
  - 法律家 日本弁護士連合会
  - 呼びかけ団体から

## 〈呼びかけ団体〉

特定非営利活動法人DPI日本会議・社団法人全国脊髄損傷者連合会

特定非営利活動法人ALS/MNDサポートセンターさくら会

人工呼吸器をつけた子の親の会(バクバクの会)・日本脳性マヒ者協会全国青い芝の会

特定非営利活動法人自立生活センターくれぱす・神経筋疾患ネットワーク

全国障害者介護保障協議会・TILベンチレーターネットワーク 呼ネット

怒っているぞ!障害者きりすて!全国ネットワーク、全国自立生活センター協議会

## 〈申込み・連絡先〉

参加申し込みは、氏名・団体・連絡先を書いて、[kinoshita@dpi-japan.org](mailto:kinoshita@dpi-japan.org)までメールをお送り下さい。

問い合わせは、特定非営利活動法人 DPI 日本会議(担当：木下)

電話 03-5282-3730